

令和2年度 第1回 甲賀市地域公共交通活性化協議会 次第

議 事

(1) 報告事項

報告第1号 役員及び自動車部会委員の選出について

報告第2号 近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会の進捗について

(2) 協議事項

第1号議案 令和元年度事業報告について

第2号議案 令和元年度収支決算報告について

第3号議案 令和2年度事業計画（案）について

第4号議案 令和2年度収支予算（案）について

甲賀市地域公共交通活性化協議会について

甲賀市では、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」（平成19年法律第59号）の規定に基づく法定協議会を平成21年3月13日に設置致しました。

甲賀市地域公共交通活性化協議会では、地域交通について総合的な検討を行い、関係者と合意形成を図りながら、甲賀市にとって最適な公共交通を実現するため、実証実験や利用促進などを検討・実施しております。

また、本協議会には自動車部会を設置しており、自動車部会では道路運送法の規定に基づく地域公共交通会議の機能を有しておりますことから、主にコミュニティバスの路線再編やダイヤ改定、運賃改定等を運行事業者からの提案に基づいて協議いただくこととなっております。

【報告第1号】 役員及び自動車部会委員の選出について

役員及び自動車部会委員の選出について

1. 役員の選出について

当協議会は2年間の任期であり、昨年度に委員委嘱を行ったことから、今年度は任期の中間年となります。(5ページに令和2年度の委員一覧を添付。人事異動や交代により変更があった場合は備考欄に記載。)なお、甲賀市区長連合会、甲賀市PTA連絡協議会につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、役員選出の会議が未実施でありますので、名簿氏名については「選出中」と表記しております。

監査委員につきましては、甲賀市区長連合会にお願いをさせていただいておりますので、甲賀市区長連合会より推薦いただいた方に引き続き監査委員をお願いさせていただきます。監査委員が確定しましたら、あらためてご報告いたします。

(1) 副会長 甲賀市建設部 寺村 弘

(2) 監査委員 甲賀市区長連合会 選 出 中

甲賀市商工会 吉川 徹

甲賀市地域公共交通活性化協議会設置要綱 (抜粋)

(組織)

第4条 協議会は、会長、副会長及び委員をもって組織する。

2 会長は、副市長をもって充てる。

4 副会長は、委員の中から会長が指名する。

(監査)

第12条 協議会に監査委員を2人置く。

2 監査委員は、委員の中から会長が指名する。

2. 自動車部会委員の選任について

自動車部会員につきましては、下記の規定に基づき、5ページ記載の委員名簿のとおりとさせていただきます。

甲賀市地域公共交通活性化協議会自動車部会規程 (抜粋)

(組織)

第4条 部会は、部会長及び部会委員をもって組織する。

2 部会長は、協議会会長が指名する。

4 部会委員は、次に掲げる者のうちから協議会会長が指名する。

(1) 国及び県における公共交通に関する行政機関の職員

(2) 地域における公共交通に関する諸団体及び利用者の代表者

(3) 関係バス事業者

(4) 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体が指名する者

(5) 公共交通に関する部署の市の職員

(6) 前各号に掲げるもののほか、市長が適当と認める者

甲賀市地域公共交通活性化協議会 委員

令和2年度

役 職	機 関 及 び 団 体 名	職 名	氏 名	備 考
会 長	甲 賀 市	副 市 長	正木 仙治郎	
副 会 長	甲 賀 市 建 設 部	部 長	寺 村 弘	

【委員】

No.	分 野	機 関 及 び 団 体 名	職 名	氏 名	自動車部会	備 考
1	所 管 運 輸 行 政	国土交通省近畿運輸局滋賀運輸支局	首席 運輸企画専門官	酒 井 敏 一	○	
1	広 域 交 通 行 政	滋賀県土木交通部交通戦略課	参 事	津 田 誠 司	○	R2.4.1より 委嘱
1	道 路 管 理 者	滋賀県甲賀土木事務所	所 長	北 川 純 二	○	
1	所 管 警 察 (交 通)	滋賀県甲賀警察署交通課	交通課長	中 井 拓	○	R2.4.1より 委嘱
2	学 識 経 験 者	立 命 館 大 学 理工学部都市システム工学科	教 授	塚 口 博 司	○	
3	市 民 代 表	甲 賀 市 区 長 連 合 会		選 出 中	○	監査委員
3	市 民 代 表	ゆ う ゆ う 甲 賀 ク ラ ブ	副 会 長	箭 田 庄 之 助	○	
3	市 民 代 表	甲 賀 市 身 体 障 害 者 更 生 会	会 長	増 田 定 雄	○	
3	市 民 代 表	甲 賀 市 P T A 連 絡 協 議 会		選 出 中	○	
3	関 係 団 体 (福 祉)	社会福祉法人甲賀市社会福祉協議会	法人運営部長	本 馬 よう子	○	R2.4.1より 委嘱
3	関 係 団 体 (商 工)	甲 賀 市 商 工 会	事務局長	吉 川 徹	○	監査委員
4	鉄 道 事 業 者	西日本旅客鉄道株式会社 近畿統括本部京都支社地域共生室	室 長	野 口 明		
4	鉄 道 事 業 者	近 江 鉄 道 株 式 会 社	鉄道部長	遠 藤 賢 一		R2.4.1より 委嘱
4	鉄 道 事 業 者	信 楽 高 原 鐵 道 株 式 会 社	常務取締役	尾 中 庄 一		
4	バ ス 協 会	一般社団法人滋賀県バス協会	専務理事	野 村 義 明	○	
4	タ ク シ ー 協 会	一般社団法人滋賀県タクシー協会	専務理事	濱 田 隆 久	○	
4	一 般 乗 合	滋 賀 バ ス 株 式 会 社	代表取締役	隠 岐 公 史	○	
4	一 般 乗 合	株式会社シガ・エージェントシステム	代表取締役	松 岡 政 敏	○	R2.4.1より 職名のみ変更
4	一 般 乗 合	帝 産 湖 南 交 通 株 式 会 社	顧 問	中 島 敏	○	
5	一般旅客自動車運送事業者の事業 用自動車の運転者が組織する団体	私鉄労働組合滋賀県協議会	幹 事	北 村 雅 利	○	
6	一 般 乗 用	滋 賀 タ ク シ ー 株 式 会 社	業務課 課長	山 本 義 行	○	
6	一 般 乗 用	近 江 タ ク シ ー 株 式 会 社	所 長	清 水 将 雄	○	R2.4.1より 委嘱
6	一 般 乗 用	た ぬ き タ ク シ ー 株 式 会 社	取 締 役	林 輝 彦	○	R2.4.1より 委嘱
6	一 般 乗 用	株式会社ビジネスサービス滋賀	専 務	田 之 上 孝 義	○	
7	甲 賀 市 職 員	甲 賀 市 総 合 政 策 部	次 長	袖 口 浩 幸	○	
7	甲 賀 市 職 員	甲 賀 市 産 業 経 済 部	次 長	細 井 享	○	
7	甲 賀 市 職 員	甲 賀 市 健 康 福 祉 部	次 長	西 田 薫	○	
7	甲 賀 市 職 員	甲 賀 市 教 育 委 員 会 事 務 局	次 長	山 本 英 司	○	R2.4.1より 任命
7	甲 賀 市 職 員	甲 賀 市 建 設 部	次 長	樋 口 泰 司	○	R2.4.1より任命 (自動車部会長)
事務局	甲賀市建設部公共交通推進課		課 長	田 村 勝 也		事務局長
			係 長	中 村 正 太		
			主 事	服 部 淳 平		
			主 事	小 野 山 忠 司		
			主 事	田 中 亮 平		

近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会の進捗について

新聞等でも報道されておりますとおり、近江鉄道の鉄道事業は1994年度から営業赤字が継続し、2018年度において年間約4億の営業赤字となっております。今後も老朽化した設備改良などの投資や大規模修繕費用が増えることが予想され、平成28年度に県、沿線市町に対して会社単独での鉄道存続は限界との申し出を受けました。

その判断を受けて、平成28年度末より、昨年度10月までの間、県と沿線市町そして国土交通省や学識経験者のアドバイスを受けながら、近江鉄道の現状の情報共有及び今後のあり方に関する調査、検討を行ってまいりました。

現在の進捗といたしましては、本協議会と同様に「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく「近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会」を設立し、令和2年3月に開催された第2回目の協議会において「鉄道での全線存続」が確認されるところであります。

今後は上記協議会において、存続に向けた具体的な調整事項の協議および近江鉄道沿線地域を対象とした「地域公共交通網形成計画」を策定する予定をしております。

※現在までの検討経過、会議資料は滋賀県のホームページに掲載されております。

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kendoseibi/koutsu/305179.html>

近江鉄道線のあり方に係るこれまでの検討経過

1 概要

- 平成 28 年度に近江鉄道株式会社から県および沿線市町に対し鉄道事業の推移と今後の課題について状況説明。
- 平成 28 年度から平成 29 年度にかけて、沿線市町、県、近江鉄道（株）の三者により近江鉄道線の現状と課題を共有するため勉強会を実施。
- 平成 30 年度には、県と沿線 5 市 5 町の部・課長クラスによる検討会を設置して、法定協議会設置への移行に向けた準備調整を進め、近江鉄道線の現状に関する調査検討や他地域の事例についてのフォーラムを交えて同線のあり方を検討。

2 経過

年月	項目	摘要
平成28年6月	近江鉄道株式会社より 県へ状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期にわたり営業損失が継続しており、今後も利益が見込めない ・ 今後、老朽化した施設の更新に多額の設備投資を必要 ・ 民間企業の経営努力による事業継続は困難
平成29年1月 ～平成30年2月	近江鉄道に関する勉強会 (計8回開催) 【構成メンバー】 県、市町(課長級)、近江鉄道(株)	(主な協議事項) <ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道事業の推移と今後の課題 ・ 沿線市町の利用状況 ・ 利用促進事業と費用対効果 ・ 養老鉄道ヒアリング など
平成29年12月	中日新聞報道	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近江鉄道が鉄道経営を同社単独で維持することが将来的に困難になるとの見通し
平成30年7月	近江鉄道のあり方検討に向けた「副首長級キックオフ会議」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県と5市5町で、平成31年度中に法定協議会の設置を目指すことを確認
平成30年12月～ 令和元年7月	近江鉄道線活性化再生協議会(計6回開催) (※H31.3(仮称)(仮称)近江鉄道線 地域公共交通再生協議会設置準備 調整会議から名称変更) 【構成メンバー】 県、市町(部・課長級)、近江鉄道(株)、学識経験者、 近畿運輸局	(主な協議事項) <ul style="list-style-type: none"> ・ 近江鉄道線の現状分析 ・ 近江鉄道線がなくなった場合に想定される影響、問題点等の整理 ・ 代替交通手段(バス、BRT等)の導入した場合のメリット、デメリット ・ 鉄道線を存続する場合の存続パターンおよび費用 ・ 近江鉄道線に係る鉄道事業者としての意向
令和元年 8月27日	近江鉄道沿線市町首長会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法定協議会を設置することを合意

令和元年 11月5日	近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会（第1回）	規約、予算、事業計画の承認
令和2年 3月25日	近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会（第2回）	「鉄道を全線存続」することの確認

3 今後のスケジュール

	項目	摘要	
R2 年度	「地域公共交通網形成計画」 の策定 ※協議会は年3～4回程度開催 ※必要に応じてテーマごとに分科会を設置し議論	上半期	（目標） 鉄道事業の運営形態（現行維持・上下分離等）および自治体財政負担の合意
		下半期	（目標） 将来の運営形態等に応じた「地域公共交通網形成計画」の検討、策定
R3 年度	現状維持の場合	事業構造の変更の場合	
	R4 年度以降の自治体財政負担や経営改善策の具体化等に向けた準備調整等	・「鉄道事業再構築実施計画」の策定	・事業資産の譲渡 ・施設保有団体等の設立 ※存続形態等により異なる。
R4 年度	新たなスキームによる再生	事業構造の変更（上下分離等）による新たな運営体制への移行	

令和元年度事業報告

「住みよさと活力を支え、使いやすい地域公共交通の確保・維持」を目指し、効率的で持続可能な公共交通体系の構築するため、以下の事業を実施しました。

1. コミュニティバス・タクシーの路線改定および改善

利用者の実態に即したコミュニティバスのダイヤ調整及び利用状況に即した効率的かつ効果的なコミュニティバス路線を実現するため、下記のとおり路線や時刻の改定および改善を行いました。

(令和元年10月1日からの主な変更点)

○広域バス路線のアクセス向上

・土山地域の支線路線の増便、また土山学区の一部にコミタクを導入し、既存のコミュニティバス停留所へ接続することにより、高齢者の外出機会の一層創出および土山地域既存バスの利用促進をはかりました。

○無料乗車券対象年齢の引き下げについて

・高齢者の外出機会をより一層創出するため、対象年齢を満80歳以上から満75歳以上に引下げました。

(令和2年4月1日からの主な変更点)

○コミュニティバス路線、時刻の改正

・土山地域から貴生川駅へ至るコミュニティバス路線の利便性向上のため、朝の通勤・通学時間帯に利用できる便の新設、接続の改善を行いました。

・和野・中畑線の一部の系統について、平和堂を経由するようルート変更し、利便性を向上させました。

・甲賀駅-甲賀病院直行便について、新たに4か所の停留所を通るようルートを変更し、復路便についても午前の診療を終えた方が利用しやすいように時刻を変更しました。

○コミュニティタクシーの予約方法の改正

・予約の締切時刻を「乗車時刻の1時間前まで」に改め、利用しやすい方法へ変更しました。

・神山江田コミタクの運行を以前の定時定路線方式から自由な時間で移動できるよう他の市内運用に統一しました。

2. 甲賀市公共交通連携時刻表の作成

2度のコミュニティバス・コミタクの路線改定（令和元年10月1日、令和2年4月1日改定）を実施したことから、下記の通りそれぞれの改定に対応した時刻表を作成しました。

【令和元年10月1日改定分】

- (1) 内 容 令和元年10月1日改定のコミュニティバスを中心に市内公共交通の時刻表（接続時刻）を掲載（改定があった箇所のみ作成）
- (2) 発行部数 土山地域エリア版 2,500部（B3判 カラー 8ページ）
全 域 版 10,000部（ポケット版 カラー 12ページ）
- (3) 配布先 エリア版 土山地域へ全戸配布
全 域 版 各駅・市役所・公共施設に配布

【令和2年4月1日改定分】

- (1) 内 容 令和2年4月1日改定のコミュニティバスを中心に市内公共交通の時刻表（接続時刻）を掲載
- (2) 発行部数 エリア版 28,400部（B3判 カラー 4～8ページ）
全 域 版 15,000部（ポケット版 カラー 60ページ）
- (3) 配 布 先 エリア版 市内全戸配布
全 域 版 各駅・市役所・公共施設に配布

3. 観光と連携した利用促進

信楽地域への観光アクセスを充実させることにより、来訪者の増加と公共交通の利用促進を図るため、連続テレビ小説「スカーレット」の放映に合わせて、令和元年10月1日より大津市大石小学校行きの土日祝日便を2往復増便しました。

4. モビリティ・マネジメントの推進

- ・市職員に対して公共交通を利用した通勤の推奨を行いました。
- ・市ホームページ・広報誌を通じての利用促進啓発や小学生を対象とした公共交通についての交通環境学習を実施しました。

5. 会議関係

令和元年度の協議会開催実績は下記のとおりです。

開催日	事 項	内 容
令和元年5月29日	第1回甲賀市地域公共交通活性化協議会	平成30年度事業報告及び決算について 令和元年度事業計画及び予算（案）について
令和元年8月9日	第1回甲賀市地域公共交通活性化協議会 自動車部会	甲賀市コミュニティバス・タクシー路線について（令和元年10月1日改定）
令和2年2月14日	第2回甲賀市地域公共交通活性化協議会 自動車部会	甲賀市コミュニティバス・タクシー路線について（令和2年4月1日改定）

6. 新型コロナウイルス感染症対策について

乗務員、社員並びにおお客様の感染拡大対策を施すと同時に、市民の移動手段の確保、維持いたしました。

- ・感染拡大の防止対策として、乗務員のマスク着用と消毒、車内等の消毒、換気を行うとともに、お客様に対しても感染防止マナーの遵守を掲示物により啓発を行いました。
- ・定期券払い戻しについて、保護者の負担軽減のため特例措置を実施しました。
- ・甲賀保健所の指導をいただき、感染者が発生した場合など非常時の対策についての情報共有を市と事業者で行いました。

7. 令和元年度甲賀市コミュニティバス・コミタクの利用実績について

7ページに「令和元年度甲賀市コミュニティバス路線別利用実績」として、各地区の路線別利用者数を掲載しております。

市内全体の利用者数は昨年度と比べて約19,963人増加（前年比104%）しておりますが、3月については、新型コロナウイルス感染症の影響による学校休校等のため、利用者が大幅に減少しております。

水口地域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年実績	増減
八田ルート	8,030	8,350	8,602	8,553	8,806	7,970	8,906	8,709	8,105	8,011	7,222	4,683	92,947	93,574	-627
広野台ルート	4,557	4,308	4,545	5,024	4,146	4,535	4,889	4,818	4,742	4,234	4,019	3,781	53,598	53,592	6
広野台・併合小ルート	260	355	416	267	0	327	369	361	218	322	283	0	3,178	3,748	-570
和野・中畑ルート	3,203	3,393	3,510	3,301	1,680	3,505	3,686	3,484	3,118	3,020	3,028	1,279	36,207	36,133	74
相木巡回線	168	205	209	218	188	177	171	177	168	147	166	106	1,996	1,996	0
三雲駅・市役所ルート	2,625	2,830	2,973	2,925	2,397	2,890	3,075	3,017	2,953	2,725	2,743	2,298	33,451	30,597	2,854
貴生川・甲賀病院ルート	442	430	421	460	395	453	506	486	486	435	419	411	5,426	5,294	132
コミタク眞生川エリア	230	227	255	271	210	254	276	272	257	236	243	232	2,963	2,841	122
コミタク柏木エリア	271	266	331	424	309	308	320	319	279	303	330	346	3,806	2,742	1,064
みなくちデマンド	7	2	4	5	0	0	3	7	0	4	2	2	36	22	14
合計	19,793	20,366	21,266	21,448	15,131	20,419	22,269	21,624	20,326	19,437	18,455	13,138	233,672	230,539	3,133

土山地域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年実績	増減
土山本線	14,481	15,134	14,656	14,536	11,113	14,592	15,354	15,754	14,671	13,282	13,056	8,308	164,937	157,243	7,694
土山甲賀病院直通便	541	447	573	535	358	523	553	555	477	583	595	399	6,139	4,946	1,193
大河原線	165	162	112	165	58	126	113	153	164	160	117	89	1,584	2,323	-739
山内巡回線	127	162	184	130	4	85	87	128	104	117	79	9	1,216	4,626	-3,410
大津・土山北巡回線	689	819	851	759	25	818	913	850	726	810	805	16	8,081	9,136	-1,055
米田・大野小巡回線	414	508	555	419	14	529	529	567	482	515	507	7	5,046	4,959	87
甲南線	244	282	286	258	96	291	360	318	262	327	261	87	3,072	2,820	252
土山北部巡回線							4	39	6	8	11	14	82	0	82
南草津線	241	226	289	217	0	263	289	391	236	273	232	36	2,693	2,441	252
土山USA線	0	1	1	2	0	0	1	11	12	8	0	0	39	40	-1
おのおのデマンド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コミタク土山エリア							22	18	4	6	1	1	52	0	52
合計	16,902	17,741	17,507	17,021	11,688	17,227	18,225	18,784	17,144	16,089	15,664	8,969	192,941	188,534	4,407

甲賀地域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年実績	増減
大原線	936	1,240	1,315	1,068	129	1,296	1,336	1,414	1,139	1,110	1,214	150	12,347	15,115	-2,768
油日線	578	722	814	598	57	739	769	804	648	606	693	84	7,112	7,166	-54
佐山線	678	813	823	719	217	782	868	826	705	740	758	164	8,093	10,134	-2,041
広域水口線	1,205	1,087	1,236	1,376	971	1,230	1,424	1,396	1,414	1,181	1,134	1,004	14,658	13,300	1,358
甲賀駅-甲賀病院直通便	17	12	5	22	15	27	23	24	26	14	13	14	212	0	212
合計	3,414	3,874	4,193	3,783	1,389	4,074	4,420	4,464	3,932	3,651	3,812	1,416	42,422	45,715	-3,293

甲南地域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年実績	増減
池田-中筋小学校	945	1,180	1,193	912	8	1,103	1,281	1,177	971	1,067	910	0	10,747	3,949	6,798
寺庄-甲南-甲賀病院直行便	55	52	69	88	53	81	87	118	120	114	85	108	1,030	185	845
環状線	220	237	205	253	155	213	240	206	207	188	217	186	2,527	3,437	-910
希望ヶ丘・水口線	2,033	2,010	1,999	2,144	1,916	1,911	2,097	2,285	2,357	1,988	1,819	1,669	24,228	24,844	-616
コミタク甲南エリア	824	949	999	867	269	946	970	958	794	889	837	285	9,587	3,719	5,868
合計	4,077	4,428	4,465	4,264	2,401	4,254	4,675	4,744	4,449	4,246	3,868	2,248	48,119	36,134	11,985

信楽地域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年実績	増減
朝宮線	2,510	2,752	2,798	2,417	1,275	2,670	2,984	3,002	2,519	2,563	2,194	946	28,630	26,446	2,184
多羅尾線	977	954	943	949	726	871	1,028	968	1,016	788	896	792	10,908	10,539	369
田代・畑・陶芸の森ルート	1,212	1,556	1,538	1,100	361	1,509	1,647	1,594	1,213	1,376	1,273	234	14,613	11,862	2,751
コミタク神山江田線	197	151	132	211	172	181	222	231	233	248	243	236	2,457	4,459	-2,002
コミタク宮町エリア	370	478	461	362	80	460	493	502	370	381	419	94	4,470	4,041	429
合計	5,266	5,891	5,872	5,039	2,614	5,691	6,374	6,297	5,351	5,356	5,025	2,302	61,078	57,347	3,731

令和元年度利用者数総合計 578,232

558,269 19,963

令和元年度収支決算報告

収入の部

(単位:円)

科目	本年度 予算額	収入済額	増減	備 考
負担金	3,273,000	3,237,435	△ 35,565	甲賀市負担金
繰越金	593	593	0	繰越金
諸収入	200,407	11	△ 200,396	預金利息、11円
合 計	3,474,000	3,238,039	△ 235,961	

支出の部

(単位:円)

科目	本年度 予算額	支出済額	増減	備 考
会議費	130,000	76,660	△ 53,340	委員謝礼、会議茶代
事務費	20,000	5,710	△ 14,290	振込手数料
事業費	3,323,000	3,155,065	△ 167,935	R1.10.1改定甲賀市公共交通連携時刻表作成(改定のあった地区 分のみ作成) 380,700円 R2.4.1改定甲賀市公共交通連携時刻表作成 2,545,125円 その他、コミバスフリー乗車券作成、貴生川駅バス案内看板改修 費用等
予備費	1,000	0	△ 1,000	
合 計	3,474,000	3,237,435	△ 236,565	

収 入 合 計 3,238,039 円

支 出 合 計 3,237,435 円

翌 年 度 繰 越 額 604 円

令和元年度収支決算報告説明資料

【収入の部】

負担金については、3,237,435 円であり、本年度予算額より▲35,565 円となりました。

繰越金については、昨年度からの繰越金額 593 円を収入しました。

諸収入については、令和元年度の預金利息合計の 11 円を収入しました。コミュニティバス時刻表への広告掲載を希望される事業者がなかったため、本年度予算額より▲200,396 円となりました。

以上により、収入の部合計については、3,238,039 円となり、本年度予算額より▲235,961 円となりました。

【支出の部】

会議費については、76,660 円であり、委員謝礼、会議茶代の支出が予算見込み時よりも少額の支出となったことから、本年度予算額より▲53,340 円となりました。

事務費については、5,710 円であり、振込等にかかる金額が予算見込み時よりも少額となったことから、本年度予算額より▲14,290 円となりました。

事業費については、3,155,065 円であり、備考欄に記載のある時刻表の作成等に支出を行いました。

予備費については、支出なしとなりました。

以上により、支出の部合計については、3,237,435 円となり、本年度予算額より▲236,565 円となりました。

- ・収入合計 3,238,039 円
- ・支出合計 3,237,435 円
- ・翌年度繰越額 604 円（収入の部：昨年からの繰越金 593 円＋元年度諸収入（利息）11 円）

以上により、翌年度へ 604 円繰越します。

監 査 書

令和元年度甲賀市地域公共交通活性化協議会の収支決算について、諸帳簿および証拠書類を慎重に監査いたしましたところ、いずれも適正なものと認めます。

令和2年 5月14日

甲賀市地域公共交通活性化協議会

監査委員 吉川 徹 

監査委員 林口 高健 

令和2年度事業計画（案）

○基本方針

「甲賀市地域公共交通網形成計画」に基づき、住民の身近な交通として地域公共交通を将来にわたって「住みよさと活力を支え、使いやすい地域公共交通」を維持・確保してまいります。

（1）分かりやすく使いやすい運行体系への再編

バス路線網の再編の実施および交通結節点における地域公共交通相互の良好な乗り継ぎ環境を形成し、あわせて適切な情報提供を継続的に実施することで、分かりやすく使いやすい運行体系を構築していきます。

（2）みんなの移動を支え、環境にもやさしい地域公共交通の確保・維持

地域特性や利用特性、需要等を見極めつつ、継続的に運行の効率的、効果的な改善を図ります。また、観光部局とも連携し、情報の提供も積極的に実施することで利用促進を図ります。さらに、バリアフリーの推進により、人と環境にやさしくみんなの移動を支える地域公共交通を目指します。

○事業計画

基本方針の実現に向けて、以下の事業を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症対策を施しながら、市民生活の確保、維持を図っていきます。

（1） 「甲賀市地域公共交通網形成計画」の進捗管理

- ・計画の評価と市民意識調査の実施（策定後4年が経過したため）
- ・近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会の進捗報告

（2） 分かりやすく使いやすい地域公共交通網への再編

- ・利用状況に応じたダイヤ調整や効率的な路線再編の検討
- ・観光と連携した路線の導入検討

（3） 乗り継ぎ利便性の向上

- ・ICT担当部局と連携したサービスの導入検討
- ・主要停留所や老朽化した停留所の乗り継ぎ環境の改善

（4） わかりやすい情報提供と認知度向上による利用促進

- ・わかりやすい時刻表の作成、多様な媒体によるわかりやすい情報提供
- ・イベントの場を活用した地域公共交通の周知

（5） 人と環境にやさしい地域公共交通づくり

- ・モビリティ・マネジメントの推進
- ・バリアフリーや環境対応車両への更新

（6） 新型コロナウイルス感染症対策の実施

- ・感染拡大の防止対策の継続実施と状況に応じた新たな対策の実施
- ・お客様への感染防止マナーの遵守啓発

令和2年度収支予算(案)

収入の部

(単位:円)

科目	前年度 予算額	本年度 予算額	増減	備 考
負担金	3,273,000	3,273,000	0	甲賀市負担金
繰越金	593	604	11	繰越金
諸収入	200,407	200,396	△ 11	預金利息 396円 時刻表への広告掲載料 50,000円×4社= 200,000円
合 計	3,474,000	3,474,000	0	

支出の部

(単位:円)

科目	前年度 予算額	本年度 予算額	増減	備 考
会議費	130,000	130,000	0	委員謝礼、会議茶代
事務費	20,000	20,000	0	振込手数料
事業費	3,323,000	3,323,000	0	時刻表(エリア版)作成 700,000円 時刻表(全域版)作成 1,600,000円 時刻表改訂版 作成 等 1,023,000円
予備費	1,000	1,000	0	
合 計	3,474,000	3,474,000	0	

令和2年度収支予算（案）説明資料

【収入の部】

負担金は、甲賀市からの負担金により、昨年度と同額である3,273,000円を見込んでおります。

繰越金は、令和元年度からの繰越金604円を令和2年度の収入として計上しております。

諸収入は、預金利息の396円に加え、時刻表への広告掲載料として、200,000円を見込んでおります。

以上により、合計3,474,000円を令和2年度の収入として計上します。

【支出の部】

会議費は、委員謝礼、会議茶代等であり、昨年と同額の支出を見込んでおります。

事務費は、振込手数料等であり、昨年と同額の支出を見込んでおります。

事業費は、時刻表の作成にかかる費用が多く支出割合となることが想定され、市内各家庭へ配布予定のエリア版時刻表の作成にかかる金額の700,000円、市内各公共施設へ配置予定のポケット版時刻表の作成にかかる金額の1,600,000円を支出金額として見込みます。また、年度途中で時刻表の改定がある際の時刻表作成費用、利用促進のためのコミュニティバス1日フリー乗車券作成にかかる費用として1,023,000円を計上しております。これらの合計金額3,323,000円を事業費支出金額として計上しております。

予備費については、昨年と同額の1,000円を見込んでおります。

以上により、合計金額3,474,000円を令和2年度の支出として計上します。